

令和3年10月20日

きよなん



第140号

議会だより

〒299-2192

千葉県安房郡鋸南町下佐久間 3458

TEL0470-55-4804

発行／鋸南町議会

編集／議会広報特別委員会



## 鋸南町弓道場 弦心館

～コロナ禍に負けず  
弓稽古に励んでいます！！～

町ホームページにも  
本誌を掲載しています。  
カラーでより鮮明な  
画像をご覧になれます。



### はやわかり

- 令和3年9月定例会・・・2
- 3議員が町政を問う・・・4
- 決算審査特別委員会・・・8

# への飛躍を

## 補正予算

令和3年第4回定例会を、9月7日から9月17日までの11日間の会期で開催し、条例制定・改正4件、計画策定1件、補正予算3件の審議を行い、原案の通り可決しました。

令和2年度の決算認定は、9月13日に決算審査特別委員会を開催して審議を行った結果、全員賛成で全6件認定すべきものと決定されました。一般質問には3議員が登壇しました。

### B & G 財団支援金を活用し防災機能を強化

#### 一般会計補正予算

令和3年度の一般会計予算は、4億7320万2千円を追加し、総額47億4239万7千円となります。

#### 〈主な歳入補正〉

- ◆ 地方交付税 1億7458万1千円
- ◆ 前年度繰越金 2億3196万4千円
- ◆ 町債 1億9802万円
- ◆ B & G 財団支援金 1218万6千円

#### 〈主な歳出補正〉

- ◆ 庁舎屋上防水改修工事 5128万2千円
- ◆ 介護保険特別会計繰出金 2117万4千円  
(うち低所得者保険料軽減)
- ◆ 公民館改修工事 2086万6千円
- ◆ 1億9420万円



#### 問

B & G 財団支援金により防災倉庫を設置し、ホイールローダー等の防災用機材を購入するとの計画だが、倉庫の設置場所について、どのような検討を行ったのか。

#### 答

山間部における土砂災害等に対応するため、旧佐久間小学校跡地などを含め検討を行いました。今回は主に保田地区での防災拠点として、保健福祉総合センター敷地内に設置することとしました。なお、佐久間地区については役場本庁を拠点として対応を行っていきま

#### 【令和3年度補正予算】

	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	42億6919万5千円	4億7320万2千円	47億4239万7千円
国民健康保険特別会計	11億6910万5千円	103万8千円	11億7014万3千円
介護保険特別会計	14億5332万6千円	2080万6千円	14億7413万2千円

# 持続可能な町

## 条例、計画



### 専門的人材の採用

◆ 専門的知識経験を有する者を町職員として採用するための条例

高度の専門的な知識経験又は優れた識見を有する者を任期を定めて一般職の職員として採用することができるとする条例です。これら職員の給与の特例に関する事項を併せて定めています。

### 問

高度の専門的な知識経験とは。

### 答

医師、看護師、危機管理・防災対策業務、保育士、観光プロモーション業務、介護認定調査員、介護支援専門員などです。

### 過疎地域持続的発展計画



### ◆ 過疎地域持続的発展計画

人口の著しい減少等に伴い活力が低下する中、生産機能や生活環境を整備するための総合的かつ計画的な対策が必要です。①特色を活かした個性的な地域づくり、②産業の振興、住環境の整備、③資産の有効活用を基本方針に地域の持続的発展施策を展開していきます。

### ◆ 過疎地域の固定資産税免除

過疎地域において、製造業、情報サービス業等、農林水産物等販売業又は旅館業など一定の要件を満たした事業用資産の取得に係る固定資産税の免除を行う条例を制定します。

### 問

免除の対象となる固定資産は、既存の資産であってもよいのか、それとも新規取得資産に限られるのか。

### 答

既存の資産は対象外です。新規取得または増築等をした資産に限り免除の対象となります。

### 個人情報等の保護

◆ 個人情報、特定個人情報（マイナンバー）に関する条例改正

個人情報保護法、個人番号の利用等に関する法律などの改正に伴う条例の改正。地域の実情に応じた適切な個人情報保護対策を実施するための改正です。



# ここが聞きたい いっぱん質問



大塚昇議員

- ① 鋸南町への旅券事務の権限移譲について
- ② マイナンバーカードの交付状況と交付業務について



青木悦子議員

持続可能な開発目標（SDGs）の理念に配慮した施策運営、町独自にできる環境問題対策について

## 3 議員が町政を問う！

笹生あすか議員



- ① コロナ禍における災害対策について
- ② 通学路について
- ③ 高齢者福祉サービスについて

ホームページで  
動画も見られます。



一般質問とは、議員が本会議場で町長・教育長に対し施政方針や事務の執行状況を聞き、疑問点を質(ただ)すものです。紙面の都合上概要を掲載しています。



## 大塚 昇 議員



### 問 鋸南町への旅券事務の権限移譲は

### 答 来年9月28日 申請受付業務を開始

鋸南町への旅券事務の権限移譲について



旅券は、日本国政府が本人の国籍と身分を証明し、相手国に対し、所持人に必要な保護と扶助を与えることを要請する公文書である。  
旅券交付事務は、書類審査や本人確認等、確実・適切に実施する必要がある。

問 国、県から町への権限移譲の経緯と現状は。

答 旅券法により、県は昭和45年から国の旅券事務を始め、年間20万件の処理を行ってききました。平成16年法改正により県から市町村へ移譲が可能となり、令和2年度までに県内全市町村へ移譲予定でしたが、令和元年台風災害等により、当町、館山市、南房総市は、移譲が延期されています。  
問 近隣市の動向と当町の今後のスケジュールは。  
答 平成28年に市川・浦安市で移譲が始まり、平成30年に鴨川市、令和元年に富津

市が開始しています。当町、館山市、南房総市は、令和4年9月28日から申請受けを開始します。

問 担当課の対応と労務体制の方向性は。

答 県の基本方針に沿って行い、町の旅券事務取扱要綱を制定し、職員は外務省や県の研修会に参加して、迅速で適正な事務処理が行えるよう努めていきます。  
町民の旅券申請は、年平均103件概ね2日に1件でした。必要な人員を確保し、体制を整えますが、コロナ禍での減少も考慮し、検討をしています。

問 移譲に伴う費用は。

答 想定では、職員は兼任とし、備品購入費は、県貸与の交付端末と輸送トラックを除き、保管用耐火金庫、穴あけ機、写真切り取り機等、約60万円を見込んでいます。

マイナンバーカードの交付状況等について

マイナンバーカードは、公的な本人確認書類として様々な行政サービスも可能になる、顔写真入りのICカードである。

問 町のマイナンバーカードの交付状況と方針は。

答 本年7月末現在の交付



税務住民課窓口の機器

件数は、2609件で、交付率は35・8%です。  
ポイント付与キャンペーンで、交付件数の増加となり、デジタル社会の進展に伴い、新たな機能を加えた利用が予定されています。



## 青木 悦子 議員

問

答

このままでは地球が危ない！町の施策は

環境に配慮したまちづくりを官民で

「地球温暖化の原因は人間の活動」と国連は初めて断定した。令和元年の台風15号も地球温暖化による気候変動が要因であることは否定できない。

持続可能な開発目標（SDGs）の一つ、環境に関してはCO2削減のために町独自で早急に取り組む必要がある。

問 市民のゴミ処理に関する状況はどうか。

答 全体を通じて決められたルールに則り、分別処理が行われています。また、まちづくりアンケートにおいて、約6割の方がゴミの

減量化のための再使用、リサイクルなどを行っているとの回答がありました。

ゴミゼロ運動や一斉清掃には多くの市民にご協力いただき、意識が高いと感じています。

問 更なる家庭ゴミの減量化についてはどうか。

答 環境保全、ゴミの排出抑制、資源化を行うことが地域の環境保全につながることを周知し、啓発活動を促進します。

問 環境に優しいゴミ処理、減量化に向け、新たな方策はあるか。

答 ゴミゼロ運動などへの

参加者が高齢者にかたよっており、若い方の参加が少ないとの市民からの意見があります。関心を持つ方が町外からも参加できるようにイベントを検討します。

問 分別し易い商品の梱包の検討、気軽に資源回収できる環境を事業者との連携で整備すべきと考えるが。

答 独自に資源回収している事業者もいますが、一層の推進を図るために連携協力を図っていきます。

問 学校教育や生涯学習において環境についての啓発的な学習は、実施されているか。

答 小中学校共に学年に応じた内容での環境学習が行われています。社会教育では「放課後子ども教室」で「プラスチックの海」について学習し、実際に海岸で

ゴミ拾いをして、漂流物の観察をしました。B&G海洋センターでは「海ごみゼロフェスティバル」という環境学習や海岸清掃を予定しています。

問 2027年から始まる6市1町の広域ゴミ処理施設稼働に向け、ゴミの減量化にどう取り組むか。

答 ごみの減量化と環境の保全については、関係市町

の共通の課題です。また、広域化により大きなコスト削減をすることが、市民の方々の負担軽減になりますので、最重要課題として引き続き協議を行う予定です。

要望 可燃ゴミ減量化には可能な限り、生ゴミを家庭で処理し、ゴミの減量化を推進すべきと考える。生ゴミを土に返し、循環型社会の構築を。



生ごみを土に返す“キエーロ”



## 笹生 あすか 議員

問

コロナ禍での災害対策は

答

感染予防に努めつつ、災害対策を強化

コロナ禍における災害対策について

問 コロナ禍での災害対策の現状はどうか。

答 地域防災計画の見直しを行うとともに、戸別受信機の難聴解消対策や停電時の電源確保、SNSツールの活用など、災害情報の的確かつ迅速な発信が図れるよう、整備強化に努めています。避難所における感染拡大の防止対策として、避難所の収容人数を考慮し、指定避難所以外の避難所を開設するなど、通常の災害発生時よりも可能な限り多くの避難所を開設します。またテントなどの備

品や消毒液などの消耗品も整備しました。

問 SNSツールの活用として、リニューアルされた町公式LINEは、通報システムが導入されるなど、便利になったと好評だ。現在の登録者は何名か。

答 昨年12月に公式のアカウンツを開設し、8月末時点で登録者は1003名です。

通学路について

八街市の通学路で下校中の小学生の列にトラックが突っ込み、児童5人が死傷するという事故が起きた。その事故を受け、文部科学省と国土交通省、警察庁は公立小学

校の通学路を対象とした合同点検を行うと発表した。

問 調査依頼を受け、町はどう対応しているか。

答 各学校では、毎年度初めに通学路の安全点検を行っています。教育委員会では、その結果をもって道路管理

者、警察、学校等呼びかけ、通学路の合同点検を行い、危険箇所を確認しました。そして関係機関へ改善を依頼し、安全確保に努めているところです。今回の調査依頼では、学校から上がってきた危険箇所の点検を行い、車の速度が上がりやすい道路や道路の横断が困難な場所、落下

防止の柵が無い箇所等を確認し、対応策の意見交換を行いました。

問 今現在、危険箇所は何ヶ所あるか。

答 小中学校からの報告では合計20ヶ所です。

高齢者福祉サービスについて

安房地域で共同作成した「認知症ケアパス」が導入され、当町でも「どしシル伝言板」という認知症高齢者の見守り事業が新規で始まっている。

問 どしシル伝言板の申込み状況はどうか。

答 現在、2件の申し込みが

あります。今のところ多くの申請等はありませんが、今後も鋸南町地域ケア会議や、講演会などで案内を続け、対象になる方、ご家族はもちろんのこと、対象者以外の方への周知も行っていきたいと考えています。

どしシル伝言板 認知症による徘徊行動などで行方不明になった方を早期発見するため、発見者とご家族がインターネット上の伝言板で情報交換を行うことで、安否情報を共有できる保護情報共有サービスです。

# 対策で歳入・歳出とも増加 査特別委員会報告～

令和2年度の一般会計・国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・介護保険特別会計・病院事業会計・水道事業会計は、議会選出の監査委員を除く議員全員で構成する決算審査特別委員会（小藤田一幸委員長）で審査された。

一般会計は、台風災害からの復旧のため歳出が大幅増となる一方、国や県からの支出金等により補われ、実質収支額は3億3196万5千円の黒字となった。町税については、被災家屋の固定資産税の軽減措置を図ったこと等により、前年度比約2000万円の減収となった。

審査の結果、各会計とも全員賛成で認定すべきものと決定した。

## 一般会計決算の

### 主な質疑

#### 【総務企画課】

**問** 公有財産購入費・補償費について土地の単価はいくらか、また補償費の金額の根拠は。

**答** 土地の契約単価は、地目は田で1㎡あたり5,366円です。補償費の金額の根拠は、資格のある業者に調査を委託し、物件調査の標準仕様書に基づいて行っています。

**問** 消防団員の確保に向けた取り組みについてどう考えているか。

**答** 消防団員の確保は全国的な問題であり消防庁にお

いても、出勤した回数により支給される出勤報酬の新設などが検討されています。

また、機能別消防団員制度や、詰所の環境改善により団員のモチベーションを高めるなど、消防委員会で

も検討いただき、環境改善に努めます。

**問** 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金で購入したトイレや蓄電池などの管理は。

**答** 各備蓄倉庫や旧鋸南幼稚園、指定避難所に備蓄しています。管理については使用後にメンテナンスが必要になる為梱包されたままの物品もあります。

**要望** 災害時に適切に使用できるよう職員への取り扱い方法の周知や管理をお願い

したい。

#### 【税務住民課】

**問** 町税について、滞納整理の実施方法はどのようなものか。

**答** 基本指針として、町税等徴収対策実施計画を毎年策定し、重点事項を滞納対策会議で内容を共有し、不納欠損処分をする際は滞納者の資産・預金調査、差押等を実施し税負担の公平性と徴収率の向上に努めています。

**問** 法人町民税について、令和元年の台風被害やコロナウイルスによる影響での法人数の減少は。

**答** 均等割が課税されているのは、令和元年度が215社、令和2年度が210

社で5社の減、法人税割が課税されているのは、令和元年度が62社、令和2年度が74社で12社増でした。

### 【各会計の決算状況】

会計名	収入	支出
一般会計	78億2278万7千円	74億7049万6千円
国民健康保険特別会計	12億4037万8千円	12億2508万8千円
後期高齢者医療特別会計	1億3737万5千円	1億3428万2千円
介護保険特別会計	14億3472万3千円	14億3139万2千円
病院事業会計（収益的収支）	8022万4千円	1億495万1千円
水道事業会計（収益的収支）	5億2202万3千円	4億5524万4千円



# 災害復興事業と新型コロナ ～令和2年度決算審

## 【保健福祉課】

**問** 子ども医療費扶助が前年度比約490万円減額になった理由は。

**答** 年度初めからの緊急事態宣言下、子どもたちの外出も減ったことが考えられます。



**問** 老人福祉センターについて、利用率の向上に向けて指定管理者制度を実施すべきでは。

**答** 笑楽の湯は鉱泉化してから営業時間の延長をするなど工夫して運営しています。職員も地域の方を採用し丁寧な接客は大変好評を得ています。

**問** 令和2年度の利用者がほぼ半減しているが、施設使用料は半減になっていないがその理由は。

**答** 施設使用料については、貸切風呂の利用者が増えたことが要因と考えます。

## 【地域振興課】



笑楽の湯の貸切風呂

**問** 前回の総合計画最終年度の中、行政が取り組む重点課題の中で目標設定されている6次産業化のための

農商工連携の推進、集落営農組織などと連携した人材受け入れの基盤の確立、食肉加工場施設の建設の実績はどうか。

**答** 6次産業化、集落営農、食肉加工は、将来的な目標で、重要な課題ですが、現在では未達です。

集落営農については佐久間地区活性化推進協議会のなかで議論をしていますが、高齢化が顕著になっており

厳しい状況です。

新たな担い手については地域おこし協力隊に農家研修を行い就農につなげていくよう取り組みを行います。

**要望** 総合計画に盛り込んだ先行投資的な目標には予算を確保し、しっかりとした対応を望む。

**問** 鋸南町の空き家バンクを見ると物件が1つしかなかったが、現在の空き家の状況は。

**答** 平成26年までの空き家は729件、令和元年度調査で102件が追加され831件になりましたが、その後の調査及び確認の結果、312件が町内の空き家数となっております。空き家バンクの登録件数は17件のうち16件が成約済み、1件が未成約です。

## 【教育課】

**問** タブレット端末の小中学校の利用状況は。

**答** 小学校ではインターネットでの調べ学習や教科書

についているQRコードを読み取り、動画の視聴など週に1回程度利用しています。中学校では月に2・3回、英語や美術の授業で利用しています。

**問** 保育所の定員は。

**答** 0歳児クラスが10人、1・2・3歳児クラスが20人ずつで合計70名ですが弾力的な受け入れも行っていません。保育基準や保育室のスペースの問題もあります。が出生数の推移を踏まえ、出来る限り受け入れて行きたいと考えます。

**要望** 出産後安心して仕事に復帰できる環境づくりに努めてほしい。



タブレットを使った小学校の授業

# ご存知ですか？ 鋸南町弓道場 弦心館

～台風被害の改修が終わり、弓道場を再開しました～

## ～表紙に寄せて～

今回の表紙と「ご存知ですか？」は、穏やかな秋日和の中で、弓道場「弦心館」での稽古の風景です。的に当たると「ボン」と良い音がしていました。

写真は、勝山の高校一年生、金高未来さんで、近々行われる試合出場のための練習の一コマです。試合は、距離28メートル先の標的に当てた数で、勝負を決めるそうです。

弓道場は、平成4年建設で、令和元年台風被災損傷後に、修復し再開しており、コロナ禍の制約はありますが、利用可能です。

なお、弓道場の利用については、B&G海洋センター  
(055-4411)にお問い合わせください。



## 議会の日誌

8月20日 議員全員協議会  
8月31日 議会運営委員会  
9月7日 第4回定例会開会  
9月8日 第4回定例会第2日目  
9月13日 決算審査特別委員会

9月17日 第4回定例会閉会  
及び議員全員協議会  
9月30日 議会広報特別委員会  
10月5日 議会広報特別委員会協議会

## ～編集後記～

当町では台風災害、新型コロナウイルス感染症の拡大と相次ぎ、各方面に影響が出ています。

その一つに定例議会の傍聴も中止され、ますます「議会だより」の重要性を感じます。

新型コロナウイルス感染症ですが、ワクチン接種の普及や、初期の感染者に対しての治療法として「抗体カクテル療法」の導入などにより、少しずつ減少傾向も見られ、更に進めば経済活動や社会生活も回復に転ずることが期待されます。

しかし油断はできません。冬季に向かい、第6波が来ることを見据えて、自分のできる感染防止対策をして、この冬を乗り切りましょう。

今年も台風が相次ぎ接近しますが、区長並びに建設水道課職員の皆様には、暑い中、町道の復旧作業にご尽力いただきありがとうございます。

(笹生 久男)